

# 道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成31年3月4日(第31号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 2月28日(木) 人権ミニコンサートが3年生対象に開かれました。 ◆◆



前日公立高校合格発表があったので、厳しい結果に肩を落とした生徒もいたと思うのですが、ヴィオラとピアノや合唱の優しい音色にみんなの心が洗われていくようなコンサートでした。

演奏してくださったヴィオラ奏者の さん、ピアノ奏者の さんが感激しながら、3年生を澄んだ目をした素敵な生徒たちと褒めてくださいました。

◆◆ 3月1日(金)の芸術鑑賞会で、音楽を心から楽しんだ南郷中でした。 ◆◆



福祉文化会館を会場に、サウンド・ジャグラー・ジャズ・オーケストラのメンバーをお迎えしての音楽鑑賞会が開かれました。入試の緊張からやっと解放された3年生を、1・2年生が拍手で迎える中、生徒をノリノリにする演奏パフォーマンスで、南郷中生徒全体が楽しいひとときを過ごしました。

司会の 先生が、「生演奏っていいね」と語ると、一同納得の様子。最後に生徒会長の さんが、「3年生の皆さんとこの会を楽しめたことが嬉しいです。卒業してほしくないというのが本心だけど、残りの日々で感謝を伝えていきたい。その日までよろしくお願いします。」と、まとめました。

◆◆ 3月1日 PTA運営委員会にて、171利用訓練の感想が寄せられました。 ◆◆

あいにく私自身は、高校の卒業式に出席の都合で運営委員会は欠席しましたが、委員の中の13名が実際に訓練に参加して頂けたそうです。大幅増!! 以下に、7名分感想を紹介します。

- ・今回は子供たちにも体験させてみました。とても役に立つ発信だと思いますが、パニック状態の時に落ち着いてこの操作をできるかどうか、少し不安です。なので、これからもこの訓練は忘れずに参加したいと思います。  
→また参加のほど、よろしくをお願いします。
- ・当日リマインドメールを頂けたので忘れずに参加できました。聞くたびにメッセージ内容が変わっていて、より実際のイメージが出来ました。欲を言えばやり方がリマインドメールに載っているとより参加しやすいと思いました。  
→改善を目指します。
- ・利用体験を行ったことがありますので、流れは存じておりました。想定のお知らせなど、こういう内容のお知らせがあるのだと理解することが出来ました。
- ・時間が短いので前もって登録内容を子供と決めておくことが大切だと思いました。特に、どこにいるのか、誰と一緒にいるのか、ケガは無いかは伝えることと子供と話し合いました。  
→その通り。
- ・娘と一緒に聞きました。171は前から知っていましたが、初めてやってみて便利でした。
- ・小学校にもかけてみましたが、子供の安否情報が聞けたので、実際災害が起きたときはすぐ確認しようと思いました。中学の方は、配給時間が判って無駄な行動をしなくてもいい。混乱を防げるので良かった。携帯・自宅電話が使える状態での訓練なので焦りはなかったですが、本当に災害が『起きたときのため』の心の準備、公衆電話、10円玉など考える日となりました。  
→公衆電話は、10円玉が落ちる限り必ず使えることをご存じなのですね。立派です。
- ・言葉が明瞭で、聞き取りが分かりやすく、大切なことが分かって良かった。校長先生が音頭をとってくださって、防災意識が高まることはすばらしいなあと思いました。

◆◆ 2月22日(金) 1学年の校外学習の感想を紹介します。 ◆◆

南郷中学校では、3学年を通して平和学習を行い、「戦争」と「平和」を考えることを通し、平和を希求できる人を育てようとしています。今回は明治大学生田キャンパスにある「登戸研究所資料館」を訪れた生徒の感想を紹介します。今回紹介する2名に限らず真面目で一生懸命考えた感想が沢山寄せられています。平和学習に真剣に取り組む1学年生徒の様子が伝われば幸いです。

1年B組

「大人には話したくないが、高校生(中学生)の君たちには話そう」という言葉を聞いて、戦争を体験した人だからこそ、平和についてしっかり次の世代の人たちに理解してほしい、知って欲しいという気持ちがよく伝わってくる言葉だと思った。戦争の辛さ、悲しさ、痛さ、怖さがよく伝わってくる展示品や展示室、ちょうど私がいたところでも悲惨で卑きような研究、実験が行われ、それを使って何千人、何万人も1度に殺していたと思うと、戦争は二度としてはならないのだと誰もが思うと思う。それでもそんな事は頭になく、ただ勝つことだけを考えている人はまだこの世界にたくさんいる。だからといって日本も戦争していいわけではないし、全ての世界もあってはならない。このことを理解し、誰もが平和を願う世界になってほしいと改めて思った。

この校外学習を通して、平和についてたくさんのことを学ぶことができた。そしてもう一つ大事なことを学んだ。それは集団行動だ。校外へ出かけるのが初めてで、少し不安のこともあったけど、みんながみんな時間をしっかり見て行動し、代議員や先生の話をよく聞いて、協力することができていたと思う。これから先まだまだこの学年で、東京班別行動や修学旅行があるので、みんなで協力して社会に出るため、自分たちのためだと思って続けていけるようにしたい。

1年B組

登戸研究所の展示物や史跡を見て、昔の日本では戦争に勝つための実験で、人や動物などの生き物が亡くなり、さらに、戦争で人が亡くなり、ありえないと思いました。でも昔の日本人は、動物慰霊碑や弥心神社を立て、戦争で亡くなった方々をなぐさめ二度と戦争なんていうものが起こらないように、起こさせないようにしたのだと思いました。

特に印象に残っているのが弾薬庫と動物慰霊碑です。弾薬庫は戦争で空襲などを受けた際、薬物、爆弾などを守るためのものです。これに対して私には疑問があります。それはなぜ爆弾や薬物を守るのだろうか?です。なぜ人間や動物、生き物の一人一つずつしか命より、爆弾や薬物など、作ろうと思えばいくらでも作れるものを優先するのかと思いました。けれどこれが昔と今の違いかな?とも思います。動物慰霊碑が、実験などでお世話になった動物をなぐさめるものですが、なぜ、人間同士の戦いなのに、動物が巻き添えを食わなければならないのだろうと、最近国語で手塚治虫さんの「この小さな地球の上で」を読んだので、よけいにそう感じるのかな?と思いました。

とにかく『戦争』と『平和』は全く違うもので、『平和』のほうが絶対に良いと改めて考えた校外学習でした。

◆◆ 京急バスのバス予約に関する最新の情報(状況)をお伝えします。 ◆◆

芸術鑑賞会に往路4台復路3台のバス予約をした際、最近のバス運転手不足が理由で、往路2台の往復運転、復路2台のバス輸送に切り替えざるを得なくなったことはお伝えしました。

路線バスの借上げについては、今後一切を京急バス本社の運輸部営業課が取り仕切るということなので、ここ数年学校が予約してきた内容と同じ規模で次年度計画を打診してみました。

- |             |                  |      |      |
|-------------|------------------|------|------|
| ① 4月20日(土)  | 土曜参観・学級懇談会・評価説明会 | 往路2台 | 復路1台 |
| ② 5月17日(金)  | 町づくり展(1年生)       | バス2台 |      |
| ③ 5月25日(土)  | 体育祭              | 往路1台 | 復路1台 |
| ④ 9月28日(土)  | 文化祭              | 往路1台 | 復路1台 |
| ⑤ 10月26日(土) | マラソン大会           | 往路1台 | 復路1台 |
| ⑥ 11月21日(木) | 地域ふれあいの会(1年生)    | 復路1台 |      |
| ⑦ 3月2日(土)   | 芸術鑑賞会            | 往路4台 | 復路3台 |

本社からの返答は以下の通りです。

「先日ご依頼いただいたバスの借上げにつきまして、逗子営業所運行管理者と協議いたしました。現状の人員では、お約束が出来ますのは、4月20日の輸送分のみのお引き受けとなります。直前になってのお断りはご迷惑をおかけしてしまいますので、予め他の観光バス会社にご依頼をさせていただきますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。」とのことでした。実は粘ってみたのですが難しいことが分かりました。

学校としては行事の見直しが迫られる事態となり、大変厳しい状況にありますが、町が用意してくださる借上料金が同額確保できることを前提に、例えば③④⑤は断念し、②⑥を成立させるため、1台料金が高くなりますが、路線バスから観光バス利用に切り替えたり、⑦の芸術鑑賞会を学校で実施できるものに切り替えたりするなどの検討を行わざるを得ないと判断しました。皆様にはご不便をおかけすることになりますが、何卒ご理解ご容赦をお願い申し上げます。なお、路線バスの増発等(30年度実績計29台)は引き続き逗子営業所の許す範囲で、今後も本年同様ご支援いただく予定です。